

別府青山・別府翔青高校について

臨時事務職員

相川 健 太

最初に挨拶になりますが、山本晴樹先生・大嶋誠先生、大学時代の卒業論文指導、大学院時代の修士論文指導と本当にお世話になりました。退職される事は名残惜しくまだまだ教えて頂きたい事がある様な気がします。どうか健康にご留意され、お元気で活躍して下さい。西洋史専攻を代表してお礼を申し上げます。

平成二十八年四月、私は大分市の県立爽風館高校から別府市にある別府青山・別府翔青高校で非常勤事務職員として働くことになりました。勤務は、月十八日で朝八時三十分から夕方十六時までの六時間四五分で、毎日、電車とバスで通勤しています。仕事内容は、事務補助で証明書の交付、窓口対応、各種書類の作成補助をします。

さて、今回の近況報告は、この高校について紹介したいと思えます。名前からも分かる通り、二つの高校が並立する形になっています。まず、別府青山高校の歴史を説明すると、この高校は昭和三十九(一九六四)年一月十日に開校。五十三年という歴史を持っています。

そして別府翔青高校は、別府青山高校、別府商業高校、羽室台高校という三校統合する形で誕生した高校であり、今年の四月から完全に一体化する事になります。全校生徒は七九一名(平成二十八年

十月現在)、野球とセーリングが強い高校であり、昨年からそれに加え、自転車競技、フェンシングと好成績を上げています。

さて、青山・翔青高校の教育方針は新しい時代にあつた人材を育成する事を目的としています。具体的な例あげれば、積極的に社会に参加する、責任と良識ある市民の育成を教育目標に掲げています。中期目標としては、①キャリア教育の推進による自主性と社会性を持つ生徒の育成、②学習習慣の確立による学力の向上と希望する進路の達成、③地域からの信頼・期待される特色と魅力のある学校づくり、が挙げられます。

次に重点目標として、①キャリア教育の視点に立つた教育活動の検証改善と自主的に考え、行動する生徒の育成、②生徒、保護者の進路意識を高め、生徒の学習意欲と学力向上を図る教育活動の推進、③規範意識の涵養と自己肯定感を持たせる教育の推進を挙げています。

また③の目標を達成する為の取り組みとして、ア、生徒の将来への展望を具体化させる為に、社会的課題を探る学習(朝読書、職業・学問探究、課題研究)、イ、生徒に自信を付けさせる為に、知識・技能の教育、学力の定着、伸長(自由選択科目、習熟度別授業、外部模試・資格取得試験)を行っています。ウ、学校への信頼を築く為に、学校行事の充実と規律ある学校生活(文化祭、体育祭、部活動、生徒会活動、ホームルーム活動、地域清掃活動)を行っています。

この教育目標は、近年の多様化する社会に対応する形で、創られた大分県教育委員会の重点方針(平成二十八年)に沿っています。

県教育委員会の方針では、1、子どもの力の意欲の向上に向けた組織的な取り組みの推進（学力・体力の向上、不登校対策、学校・家庭・地域の協働、福祉機関等との連携）、2、地域を担う人づくりと活力ある地域づくりの推進を掲げています。

最後に、今日ますます混迷を深める世界にどう対応するか、答えが無い問題だけに難しいものがありますが、別府青山・翔青高校はその問いに答えようと積極的な教育を打ち出している高校であると考えています。